

就職内定報告 2019

服装学部
ファッション
クリエイション学科

4年

神奈川県／横浜市立南高等学校 出身

内定企業

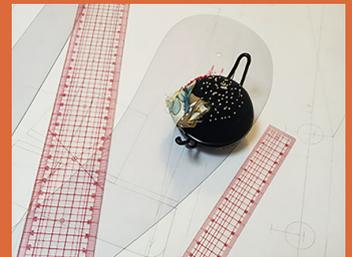
株式会社三陽商会／パタンナー

事業内容：紳士服・婦人服及び装飾品の製造販売



「ファッションが好き」から「服作りが好き」へ

ファッションブランドやデザイナーに興味があり、当初は専門学校への進学を考えましたが、専門性だけでなく、4年間さまざまなことを幅広く学べるBUNKAへ入学することを決めました。入学後、授業を受けることでアパレル業界の中には多様な職業があることを知り、「ファッションが好き」から、その中でも「服作りが好き」という思いに変わっていきました。特に2年次で履修した「ドレーピング」の授業で、先生から「パターンの組み立て方が上手」と褒められたことがきっかけとなり、パターンの魅力とパタンナーの仕事に惹かれていきました。



愛用の作図道具とピンクッション。
CADで作図することもありましたが、手描きでパターンを引くことが多かったため、手になじんでいます。



実技試験の対策

パタンナーの採用試験には実技試験があるため、授業時間外にできるだけ対策をしました。専門学生の受験者も多く、さらに彼らは入学時からパタンナーになるための勉強に取り組んでいるため、「パターンを引いてきた量」は敵いません。その差を埋めるために、空いている時間に数をこなすことはもちろん、それ以上に量より質を高めるよう心掛けました。所属ゼミの先生に、実際のアパレル企業の工業パターンの引き方などを指導していただき、授業で学んだ以上の細かい技術や知識も教えていただきました。実技試験では、先生から教えていただいた細かい技術が生かせる問題が出たため、落ち着いて受験することができました。加えて試験でありながらも、「パターンを引くことが楽しい！」と思えた時間でもありました。

「機能美」を追求するパタンナーをめざして

BUNKAでの学びの中で、斬新なデザインの服よりもベーシックな服に魅力を感じるようになり、「長く着続けられる良いもの」を作っていきたいと思うようになりました。パタンナーと一言で言っても、衣裳やドレスなどの美しさや、デザイナーズブランドの斬新なデザインを表現することが得意な方もいれば、製品になる衣料の「機能美」を得意とする工業パタンナーもいます。私がめざすパタンナーはまさに後者であり、また(株)三陽商会も「長く着続けられる良いもの」を作り続けている企業だと感じています。大学で学んできたことを下地に、(株)三陽商会が積み重ねてきたノウハウを身につけ、工業パタンナーとして一人前になることがこれからの目標です。



文化学園大学ホームページ
<https://bwu.bunka.ac.jp/>